

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

受付	番号	18		
	令和	3年	5月	27日
	午前・午後	2時 59分		

議会名	令和 3 年 第 4 回 佐野市議会定例会			
発言者	議席番号 17 番 滝田 洋子			
答弁を求める者 (選択してください)	<input type="checkbox"/> 市長 ・ <input type="checkbox"/> 副市長 ・ <input type="checkbox"/> 教育長 ・ <input type="checkbox"/> 担当部局長			
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	<input checked="" type="checkbox"/> あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ モニター使用) <input type="checkbox"/> なし			
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)			
1. 子育て支援について (1) 学校給食費の保護者負担軽減について (2) こども医療費助成制度を高校3年生まで拡充することについて 2. 投票しやすい環境作りと主権者教育について (1) 身体の不自由な方が投票しやすい環境について	<p>①給食費無料化を実施、検討している自治体があります。佐野市でも、給食費無料化を行うべきだと考えますが、どの様に考えますか。</p> <p>①県内の、こども医療費の助成を高校3年生まで実施している市は、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、日光市、下野市で、今年4月から宇都宮市が実施されています。佐野市は、「こども医療費助成制度」の対象者を高校3年生まで拡充する考えはありますか。</p> <p>②高校3年生まで医療費を無料化した場合、費用はどのくらい上乗せになりますか。</p> <p>①自宅にお住まいの、身体が不自由な方の投票制度として、どの様なものがありますか。</p> <p>②市内の投票所75か所のうち、入口に段差がある会場が43か所あります。改善してほしいと考えますが、どの様に考えますか。</p>			

<p>(2) 主権者教育の取組について</p>	<p>①18歳から投票が認められていますが、主権者意識を高めるために小学生・中学生・高校生に対し、どのような取組をしていますか。</p>
-------------------------	--